

心に残る文化財子ども塾 浜田市立旭小学校

1. 活動の概要

令和3年7月13日（火）、浜田市立旭小学校6年生19人、教職員1名を対象に「心に残る文化財子ども塾」を開催しました。まず、実施した座学では、古墳時代から奈良時代の浜田市旭町周辺の遺跡について紹介し、地元の歴史を身近に感じながら学習しました。すでに学校近くにある「浜田市旭ふるさと歴史公園」を見学していたので、公園の話を含めながら古墳や奈良時代の集落の話を行いました。また、持参した出土品から当時の生活についても学習しました。

その後、和同開珎づくりをとおして奈良時代の社会の様子や貨幣の意味について理解を深めました。さらに、大仏パネル体験では大仏の作られた意味や大きさを実感してもらいました。

2. 活動の様子



地域の歴史 座学



大仏パネル体験

3. 活動を終えて

①児童のみなさんから

- ・大仏パネル体験では、みんなと協力して作ることができてよかった。
- ・大仏の大きさがわかりよかった。本物を見てみたい。
- ・和同開珎づくりでは、お金の作り方がわかり、金属が溶けて固まるのが面白かった。
- ・和同開珎づくりでは、お金の作り方や昔の人たちのことがわかった。
- ・古墳のことについて、もっと知りたい。

②先生から

- ・実際に大仏の大きさを感じる事ができた。
- ・大仏や和同開珎は学習したばかりで、理解を深めるのに効果的であった。

③古代出雲歴史博物館から

- ・奈良時代を学習したばかりだったので、体験活動も積極的に興味を持って取り組んでいた。
- ・みんなで協力して実施した体験やふるさとの歴史をいつまでも大切にしていってほしい。